



2022年度 実施報告書

特定非営利活動法人 チャイルドラインあいち

目 次

はじめに	服部 はつ代 . . . 1
チャイルドラインとは	2
【特集】子どもの自死	高橋 弘恵 . . . 4
2022 年度 受信データ	6
電話とオンラインチャットの概要	
チャイルドラインにつながった子どもの声	
【特集】つぶやく	15
2022 年度 活動の記録	18
組織図	
各部の活動	
公開講演会	
養成講座	
クラウドファンディング報告	23
ご支援・ご協力いただいた皆様	24

はじめに

チャイルドラインあいち代表理事
服部 はつ代

2022 年度末の 5 月 8 日には、COVID-19 の感染法上の扱いが 2 類から 5 類に切り替わったが、2020 年度の 4 月の第 1 波から今年度 1 月の 8 波に至る 3 年間は 子どもたちにとって日常生活を大きく圧迫した時期であったと思う。この間、密閉・密集・密接(3 密)を避け、リモートの世界が私たちの日常に入り、一気に加速した。その結果、おとなたちの働き方やライフスタイルが変わり、それまであまりなじみのなかった層にも急速にリモート、サイバーの世界に入らざるを得ない状況を作り出した。子どもたちの学校もタブレットやパソコンを使い家庭での学習を余儀なくされた。

本来ならば、子どもたちは友だちや先輩、先生と触れ合いつつ、人間関係を持ちながら様々な体験を通して学び成長していく時間でもあったのに、孤独を感じて過ごした子どもたちは少なくないと思われる。その端的な表れが子どもたちの自殺である。

2022 年度 1 年間に生まれた子どもの数は統計史上最少で、子どもたちの自殺は過去最多という悲しい現実をしっかりと見据えて、子どもたちの傷つきに気づき、手を差し伸べて寄り添い、子どもたちが自ら乗り越え成長し、回復していく力を発揮できるように支援したいものである。

ベネッセ教育総合研究所(2022)によると、コロナ禍の 3 年間で、自分で考え、判断する行動力を身につけていくべき若者の主体性が低下し、親や組織に従順になってきている。アメリカでは、共感性については、2000 年から 20 年で共感能力が 48%、視点取得力が 34%に、低下しているデータも出ている。他者と共に「居る」「感じる」体験こそが、主体性や共感性を育む基礎となるのに、人と共にいる体験の減少やインターネット時代に生きていて緩やかに自己が多分化している状況になってきている。また少子化による親子関係が多様化してきていること、失敗を恐れる・失敗させない風潮などの要因があると識者は分析している。

チャイルドラインの活動は、電話やチャットを通してではあるが、話してくれる子どもと共に「居て」子どもの発する言葉の裏の感情や思いを「感じ」「共感」して傾聴し、相互に対話するなかで、子どもは本来の自分を取り戻したり発見する体験ができると思っている。傾聴は単に事実を聴きとるのではなく、事実の裏にある子どもたちの「生きる」と関わる真実に触れることであり、チャイルドラインは社会の大切な一翼を担っていると思っている。

コロナ後を生きる子どもたちがいきいきと生きていくために、多様な人と触れ、様々な集まりに参加したり、限られた場所や人と過ごす体験を通して、こころの成長が育める場や環境を整えていくおとな側の努力が必要ではないかと思う。チャイルドラインとしては、子どもたちの思いを多くのおとなが理解して、接することができるように社会発信をしていく努力をしたい。

「チャイルドライン」は子どもの「声」を聴く活動です。

チャイルドラインは18歳までの子どもの「声」を聴き、その気持ちに寄り添う活動です。

お説教抜き、押しつけ抜きで、子どもの「声」に、ただただ耳を傾けます。

子どもは、本気で自分の話を聴いてもらえた、受けとめてもらえたと感じることができれば、自分自身でその課題と向き合い、乗り越えていく力を持っています。

そう信じ、子どもの「声」の奥にある「こころ」を受けとめるのが、チャイルドラインです。

大切にしていること

「子どもの権利条約」の理念に基づき、子ども主体の「子どもの最善の利益」の実現を目指しています。

〈チャイルドラインの子ども観〉

- ・子どもは大人と同様に権利を持っています。
- ・子どもをひとりの人間として、その主体性を尊重します。

子どもは単に守られるだけの存在ではなく、社会をともに創っていくパートナーです。

チャイルドラインの主役は子どもです。問題解決のための具体的な助言やアドバイスをするのではなく、子どもが自分の気持ちを整理し、自分が思う解決方法を考える過程に寄り添います。また、主導権は子どもにあり、子どもがやめたくになったらいつでも話をやめることができます。

〈チャイルドラインの約束〉

- ・ヒミツはまもるよ
- ・名まえは言わなくていい
- ・どんなことも、いっしょに考える
- ・切りたいときには切っていい

子どもが安心して話せる場となるために、チャイルドラインから子どもたちへの約束です。

社会的役割

子どもの「声」を聴く大人の責任として、子どもの話を聴いたままにするのではなく、そこから見える社会課題や子どもたちの状況を社会に発信していくことで、子どもたちが生きやすい環境をつくっていきたいと考えています。そのため、子どもたちの声をデータとしてまとめ、分析し、社会に発信することや、講演会などで“子どもの話を聴くこと”の大切さを社会に啓発する活動を重ねています。また、行政・企業・他団体とも連携して「子どもの最善の利益」が保障される社会をつくるために何が必要かを話し合い、協働していくことにも取り組んでいます。

チャイルドラインの活動は、関わる大人も人として成長する機会になっています。そして、それぞれが地域の「おとな」として子どもや社会と向き合っていくこともチャイルドラインに関わるすべての人の使命であると考えています。

これまでの歩み

1970年代	北欧で子どものためのホットライン活動開始
1986年	イギリスでチャイルドライン開設
1997年	国会で超党派による「チャイルドライン設立推進議員連盟」発足
1998年	日本でチャイルドライン開設
1999年	チャイルドライン支援センター設立
2009年	全国統一番号フリーダイヤル運用開始 (月曜～土曜日 16:00～21:00)(2018年より毎日受信)
2019年	オンラインチャット相談運用開始

1970年代、北欧で子どものためのホットラインの活動が始まりました。やがて世界各地に広がっていき、1986年には虐待が社会問題となっていたイギリスでチャイルドラインが開設されました。

日本の「チャイルドライン」は、いじめが社会問題化する中、世田谷区の市民団体がイギリスのチャイルドラインを視察したのち、1998年に「せたがやチャイルドライン」を2週間の期間限定で開設したことから始まりました。1999年に、活動を全国に広めていくため「チャイルドライン支援センター」が設立され、現在では39都道府県で68団体(開設準備中2団体)がチャイルドラインの活動をしています。

世界的には「チャイルド・ヘルプライン」と呼ばれ、現在142ヶ国・173団体で活動しており、チャイルド・ヘルプライン・インターナショナル(略称:CHI 本部:オランダ・アムステルダム)が世界をつないでいます。

「チャイルド・ヘルプライン」は、「相談、紹介、アクティブ・リスニングなどの直接サービスの介入を提供する、子どものための、あるいは子どもの利益になるような電話のサービス」と定義されています。どのようなサービスを提供するかはその国のインフラに左右されることもあり、その多様性を尊重しています。(※)

日本の「チャイルドライン」は、現在、電話とオンラインチャットというツールを用い、傾聴に特化した「子どものこころの居場所」としての存在となっています。

※「チャイルド・ヘルプラインの電話相談実践ガイド[日本語版]」より

(2011年3月チャイルドライン支援センター発行)

子どもの権利条約

子どもの権利条約は、1989年に国連で採択され、翌年国際条約として発効し、日本は1994年に批准しました。子どもを「権利を持つ主体」とし、大人と対等な存在として認め、子どもの人権を保障するのがこの条約の基本事項です。

子どもの権利条約では、大きく分けて4つの子どもの権利を守るように定められています。

- ・生きる権利
- ・育つ権利
- ・守られる権利
- ・参加する権利

また、一般原則として、以下の4つを保障するよう定められています。

- ・命を守られ成長できること
- ・子どもにとって最もよいこと
- ・意見を表明し参加できること
- ・差別のないこと

【特集】子どもの自死

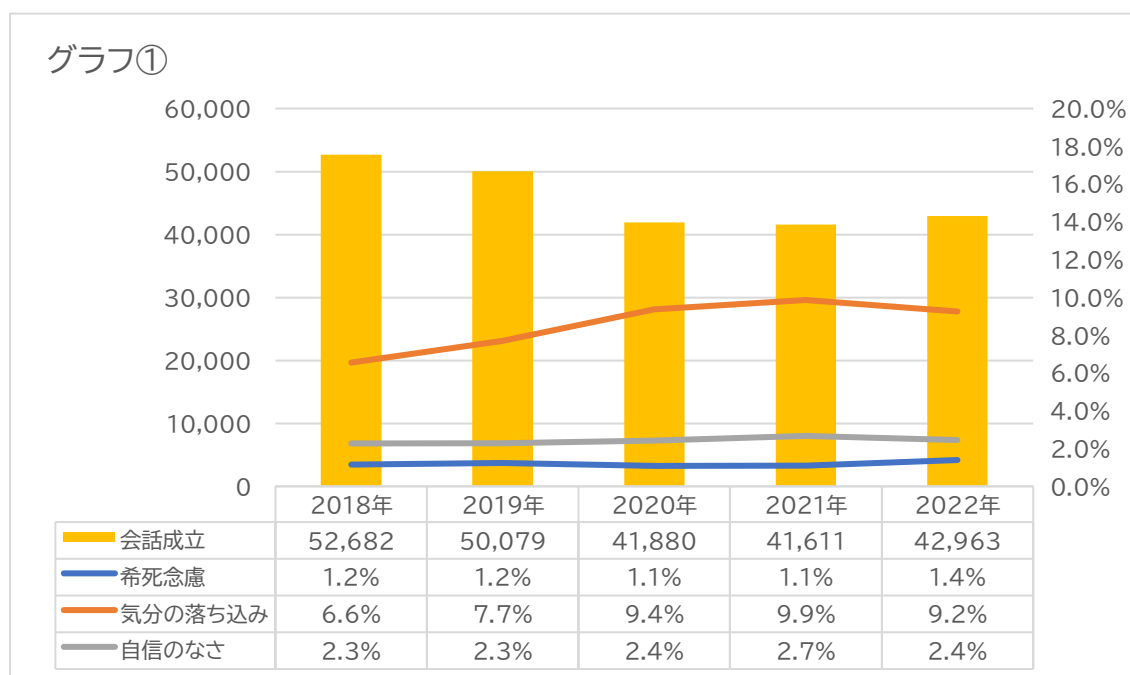
子どもたちが生きることをあきらめない社会を作りたい

チャイルドラインあいち専務理事

高橋 弘恵

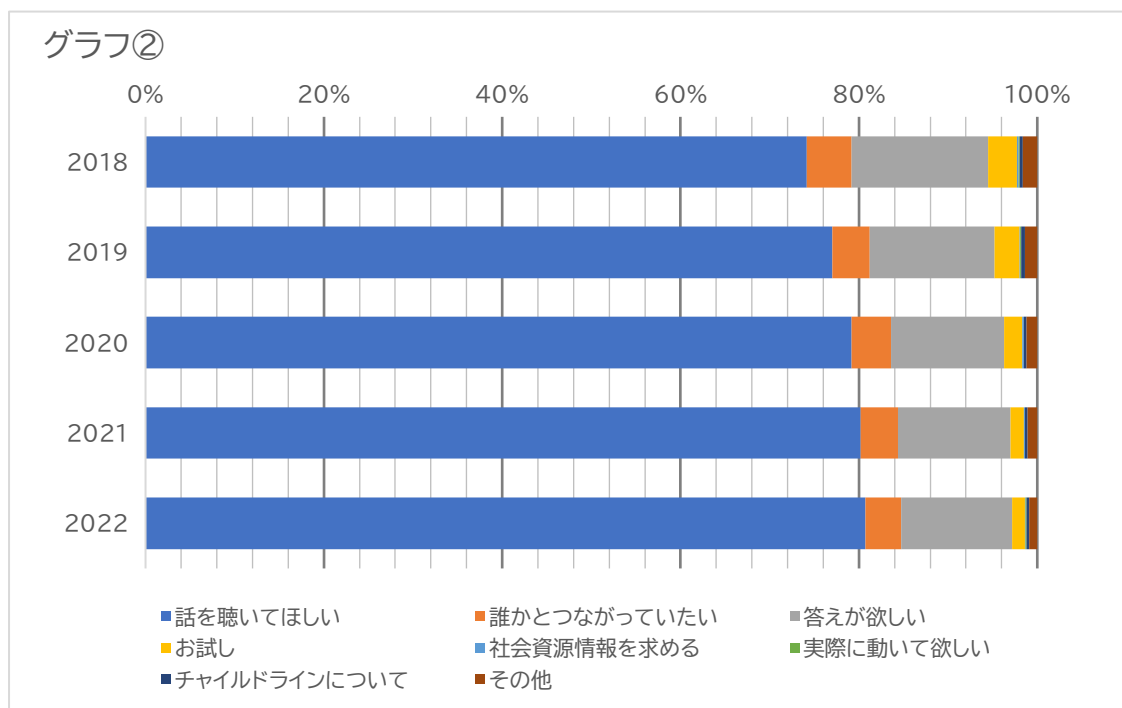
2022年度の子どもの自殺件数が過去最多の514人になったと厚生労働省から発表されました。そして10代の死因の第一位が「自殺」であることもわかりました。日本の子どもたちの生きにくさは以前から言われていましたが、コロナ禍が拍車をかけたようにも感じます。

グラフ①はチャイルドラインのフリーダイヤルで受信した会話成立数における主訴「希死念慮」「気分の落ち込み」「自信のなさ」を表しています。子どもの電話離れが進む中、チャイルドラインでもチャット相談を始めていますので、フリーダイヤルへのアクセス数は年々減少しています。その中にもあっても、これらの主訴の数値は減少していません。特に「気分の落ち込み」はコロナ禍の影響を受けたことが顕著に表れています。また、数字は小さいですが「希死念慮」も増えていることは気になるところです。



警察庁自殺統計原票データ(令和4年の暫定値:令和5年2月3日現在)より「いのち支える自殺対策推進センター」作成の資料によると、高校生の自殺の原因は「学校問題」と「健康問題」が多くなっています。特に健康問題の内訳で多いのが「うつ病の悩み・影響」「その他の精神疾患の悩み・影響」です。チャイルドラインで話す子どもたちからも、精神病院への入院経験があったり、投薬治療を受けているという話を聴く機会が増えています。また治療は受けていなくても、インターネットで流れているうつ病チェックを試して、自分はうつ病なのかもしれないと思うことで更に不安になる子どももいます。希死念慮を抱く以前の、自分に自信が持てず、精神的に落ち込んでいる子どもが常に一定数あるということは、子どもの問題を考えるうえで重要なことではないでしょうか。おとなは子どもが元気そうに見えるその裏側に何かを抱えていないか、アンテナを立てて見守る目を持ちたいものです。

出産率が下がり、少子化対策が緊急の課題となって、子育て支援に力が入っているように見えますが、それだけで対策になるでしょうか。そもそも幸福度が低いままにおとなに成長し、しんどい子ども時代を過ごしてきた人たちが、子どもを産み育てようと思えるのでしょうか。子どもとして大切に育まれ、生まれてきたことがうれしいと感じ、安心して働ける環境で生活が安定してこそ、家族を作り、子どもを育てていけるのではないのでしょうか？ 遠回りに思えても、子どもの生きづらさを聴き、そこに手当てがされなければ、子どもは社会人として安心して育つことができません。



子どもたちから信頼されるおとなであるかどうか大きな課題です。グラフ②はチャイルドラインの受け手がアクセスしてきた子どもの動機をどう感じたかを表しています。もともと気持ちを聴く役割なので「話を聴いてほしい」が多いのがチャイルドラインの特徴ですが、その割合は年々増えてきています。子どもたちとやりとりをしていて、子どもだけの力では解決は難しいと思える時、相談できるおとなが周りにいないと訴える子どもたちも少なくありません。「この人なら聴いてくれるかもしれない」「力になってくれそうだ」そう思われるおとなが子どもの周りには複数いてほしいと思います。そのためには日常の関係づくりと、おとな側の在り方が問われます。子どもに対して上から目線でアドバイスをして、言うことを聞かせようとしていないか、自分の成功体験を子どもに話して聞かせようとしていないか、振り返る必要があります。自分とは全く違う環境と経験で生きている子どもたちの話を真摯に聴き、どうすればその子が安心して成長できる環境を作れるか、親身になって一緒に考えてくれるおとなの存在が、今、この時代を生きる子どもたちには必要だと考えます。子どもが自らその命を終わらせることのない社会を作るために、子どもたちの声に教えられながら行動するおとなでありたいと思います。

2022 年度 受信データ

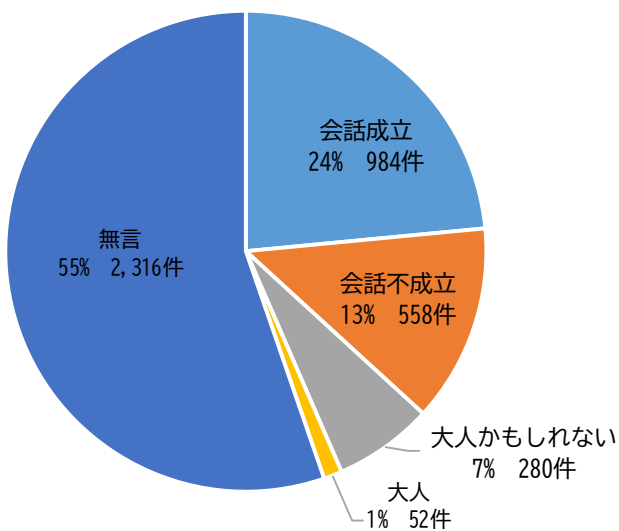
電話とオンラインチャットの概要

※同じ人が複数回アクセスしている場合があります。

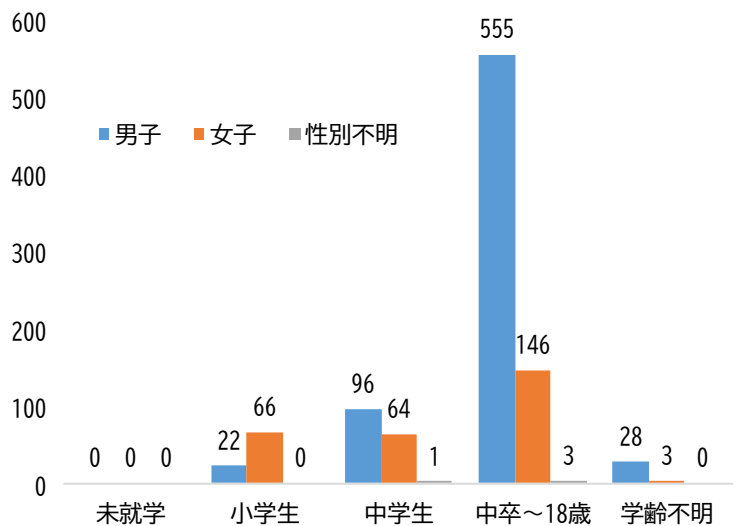
全国からの電話

2022年4月1日から2023年3月31日までにチャイルドラインあいちが受信した電話の総数は4,190件でした。子ども(未就学児～18歳)からの電話は会話成立984件、不成立558件(いずれも男女・性別不明・年齢不明が含まれる)でした。ほかに、大人かもしれない電話280件(声や言葉遣いから大人とは断定できないもの、子どもとも思えない電話)、大人断定52件、無言2,316件、という内訳です。

受信件数 4,190件



学齢・男女別会話成立件数 984件



子どもからの電話で会話が成立した984件の内訳は男子701件、女子279件、性別不明4件で、電話全体の約23%でした。また、会話不成立の558件の内訳は男子が481件、女子が50件、性別不明27件で、受信した電話全体の約13%でした。会話不成立の中にはひとことだけで電話が切れてしまったものや、自慰行為目的などが含まれています。

受信した電話全体の約55%だった「無言」の中には、かけ手である子どもが受け手の声を探しているもの、電話がつながったものの話し出せずに切ってしまうもの、などがあります。

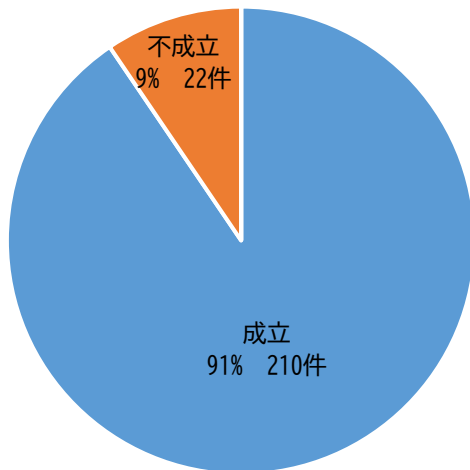
学齢別・男女別に会話成立件数を見てみると中卒～18歳の男子が最も多くなっています。

全国からのオンラインチャット

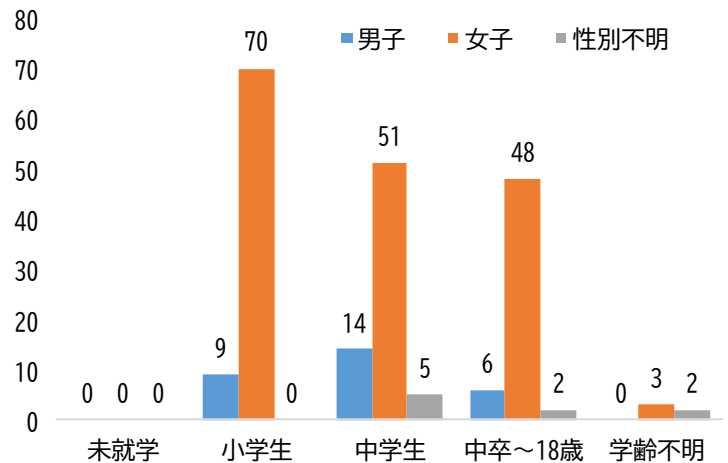
2019年度から第2、第4金曜日、第3土曜日にオンラインチャットを2回線開設しています。

2022年4月1日から2023年3月31日までにチャイルドラインあいちが対応したオンラインチャットの総数は232件でした。子ども(未就学児～18歳)からのアクセスは会話成立210件、不成立22件(いずれも男女・性別不明・年齢不明が含まれる)でした。

受信件数232件



学齢・男女別会話成立件数210件



子どもからのアクセスで会話が成立した210件の内訳は男子29件、女子172件、性別不明9件でした。また、会話不成立の22件の内訳は男子が2件、女子が16件、性別不明4件でした。

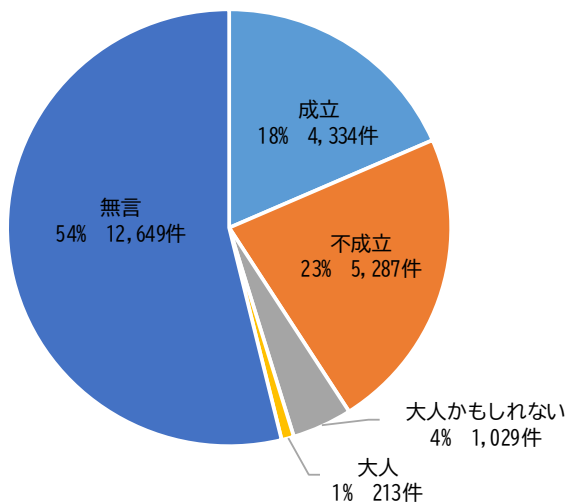
学齢別・男女別に会話成立件数を見てみると女子が多く、中でも小学生の女子が多くなっています。そばに家族がいても移動中の電車やバスの中でもつながれるのがチャットの良さでしょう。スマートフォンからのアクセスが多いですが、コロナ禍を経てネット環境が整ったため、パソコンからのアクセスも4割ほどになっています。

全国につながった愛知県から発信された電話

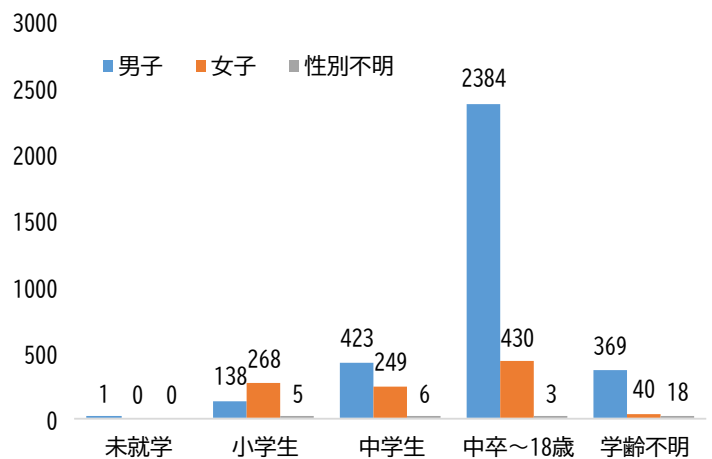
2022年度、愛知県の子どもからチャイルドラインに57,340本の電話がかかりました。電話につながったのは23,512本ですが、無言12,649本、会話不成立のもの6,104本を除くと、会話が成立した電話は4,546本でした。

このうち、性別や学齢がわかるもの4,334本について、下のグラフは受信件数と学齢・男女別本数、下の表は電話の内容として多かったものを学齢別男女別に表にしたものです。

受信件数 23,512件



学齢・男女別会話成立件数 4,334件



小学生女子(会話成立 268 本)

学校での人間関係	97 本
家庭での人間関係	29 本
自分の心に関すること	21 本
学校でのいじめ	18 本
雑談	15 本

中学生女子(会話成立 249 本)

自分の心に関すること	53 本
学校での人間関係	41 本
家庭での人間関係	22 本
学校でのいじめ	14 本
家庭での虐待	12 本

中卒～18歳女子(会話成立 430 本)

自分の心に関すること	99 本
学校での人間関係	49 本
恋愛	44 本
進路・生き方に関すること	34 本
家庭での虐待	30 本

小学生男子(会話成立 138 本)

学校での人間関係	28 本
学校でのいじめ	19 本
雑談	19 本
自分の心に関すること	14 本
家庭での人間関係	6 本

中学生男子(会話成立 423 本)

性に関すること	231 本
自分の心に関すること	31 本
学校での人間関係	23 本
雑談	22 本
自分の身体に関すること	20 本

中卒～18歳男子(会話成立 2,384 本)

性に関すること	1272 本
雑談	287 本
自分の心に関すること	195 本
恋愛	101 本
学校での人間関係	90 本

全国における発信数

NTT のフリーダイヤルのデータによると、2022 年 4 月～2023 年 3 月、全国の子どもたちがチャイルドラインに電話を掛けたのが 410,720 本、つながった電話は 184,627 本でした。

オンラインチャットではシステム上発信場所がわからないので、データを取得できません。

発信の多い県	愛知県	東京都	大阪府	埼玉県	神奈川県
発信数	57,402 本	42,056 本	37,402 本	36,202 本	24,114 本

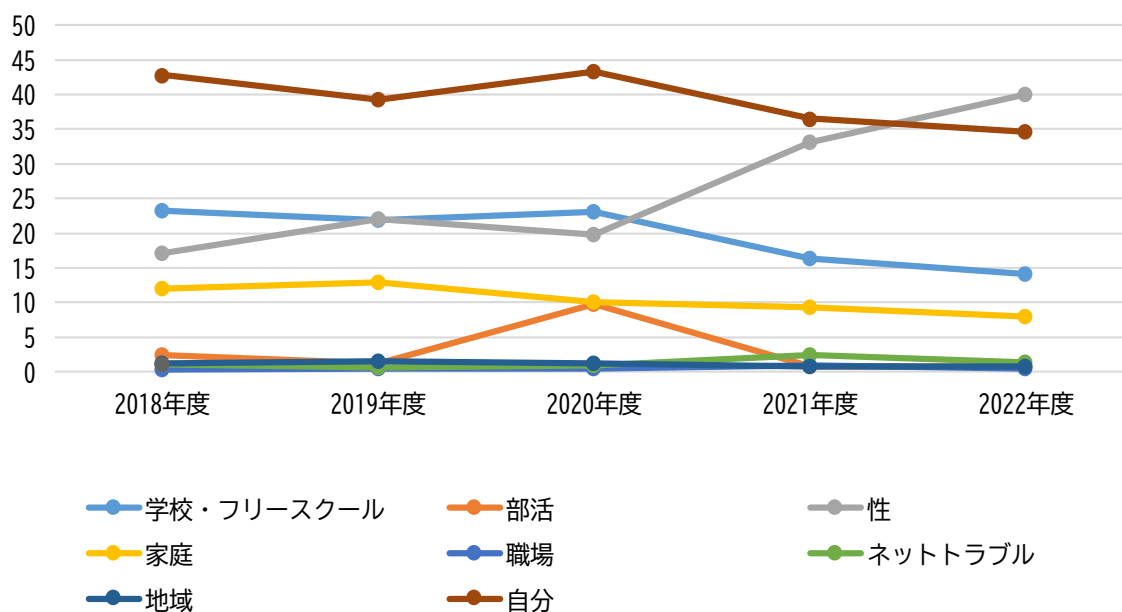
チャイルドラインあいちでは、愛知県共同募金会の配分金で毎年約 84 万枚のカードを作成し、各教育委員会及び学校のご協力で、子どもたちの手元にカードを届けることができます。毎年定期的にカードを配布していることが、愛知県の発信の多さに表れています。

愛知県から発信された電話の内容の変化

愛知県の子どもがチャイルドラインにかけた電話のうち、会話が成立したものを主訴の項目ごとの割合で示しました。コロナ禍の影響を考慮し、2018 年度から 2022 年度までを比較しました。

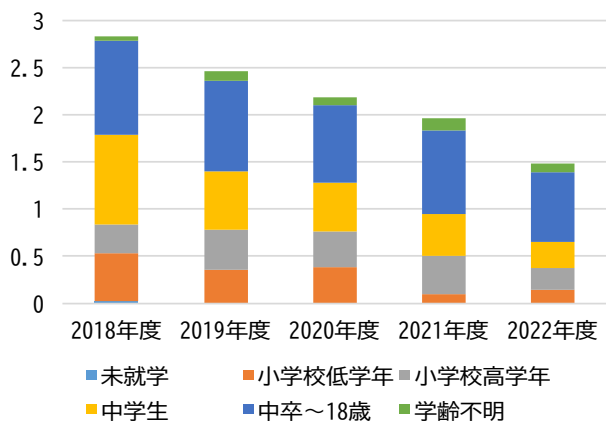
2020 年以降、中卒～18 歳男子の受信件数が大きく増加する一方、それ以外からの受信は減少し続けています。また、2021 年、22 年においては、中卒～18 歳男子からの電話の内容で 50% 以上は性に関することでした。このことにより 2021 年、22 年と性についての項目が占める割合が大きく増加したと考えられます。

会話成立における主訴の割合の変化

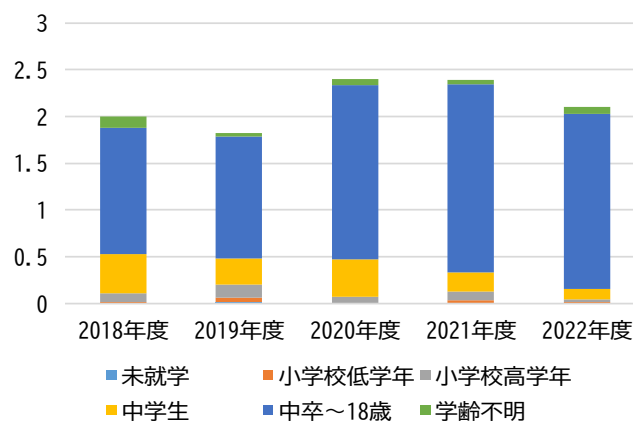


愛知県の子どもがチャイルドラインにかけた電話で会話が成立したもののうち、コロナ禍の影響がありそうな項目について考察しました。【勉強・成績に関すること】【進路・生き方に関すること】【虐待】【心に関すること】【自傷行為】の5項目について、2018年度から5年間を年度ごとに学齢別の割合を示しました。

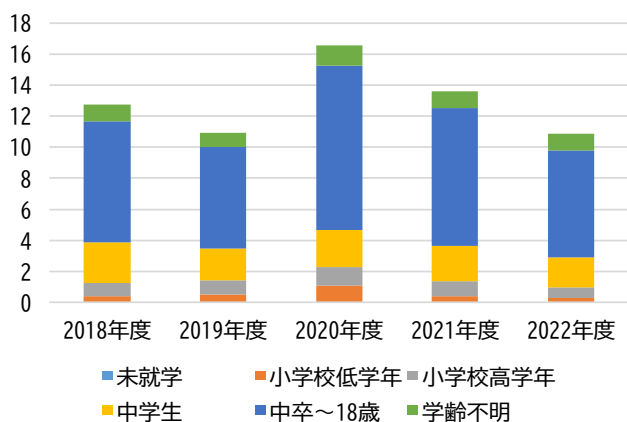
会話成立における「勉強・成績に関すること」の割合



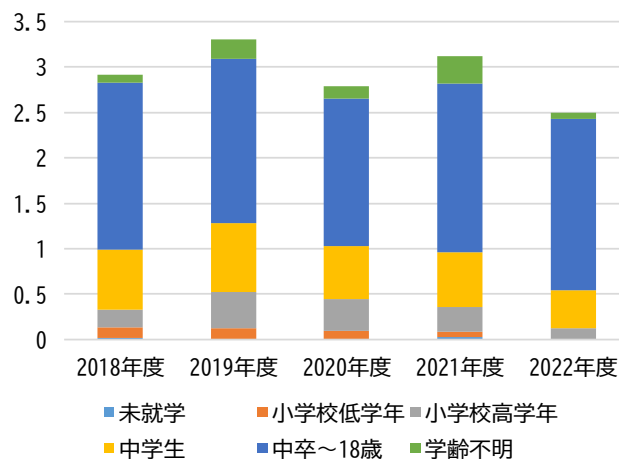
会話成立における「進路・生き方に関すること」の割合



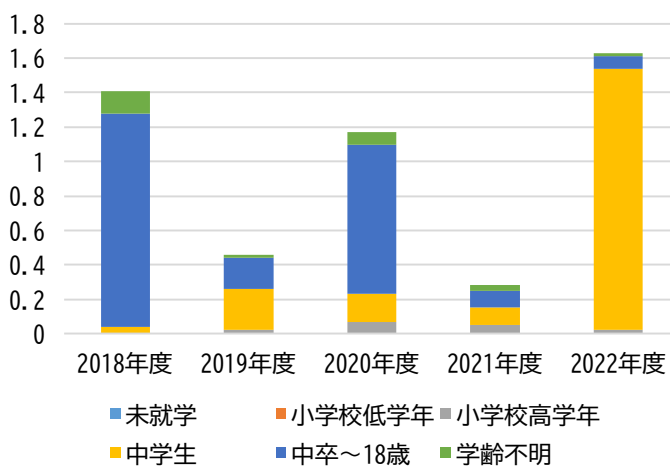
会話成立における「心に関すること」の割合



会話成立における「虐待」の割合



会話成立における「自傷行為」の割合



コロナ禍の影響を大きく感じたものはありませんでしたが、影響が全くないわけではなく、困っていることは常にあると考えられます。

【勉強・成績に関すること】よりも【進路・生き方に関すること】という先のことに
関する不安が感じられました。

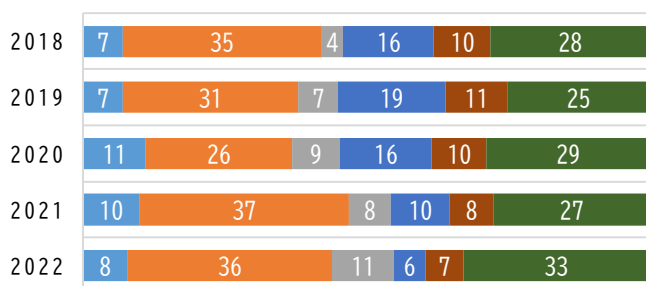
【心に関すること】はコロナ禍の影響を受け、様々な苦しい状況が重なり、【自傷行為】につながっていると考えられます。

コロナ禍前の2018年度から2022年度にかけて、電話やオンラインチャットでの内容で気になることを集めました。

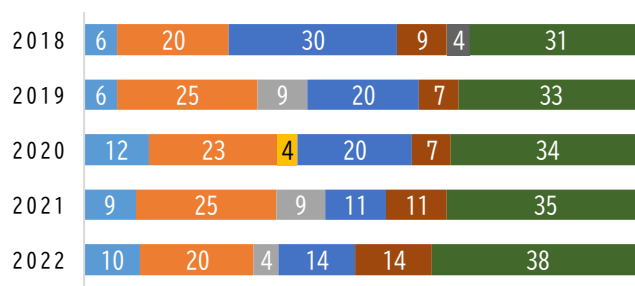
- ・コロナ禍で、回線数を減らさざるを得なかったけれど、子どもから求められていた。
- ・主訴としては一つだけれど、それに至るまでにたくさんの思いがあったと感じた。
- ・泣きながら電話でしゃべる子どもがいる。(オンラインチャットでの文字にできない思いを話したい)
- ・「電話が好き」と言ってかけ続ける子どもたちがいる。
- ・精神科などを受診している、服薬している、入院している(入院経験がある)子どもが増えてきた印象がある。
- ・「恋愛」が増えている。
- ・深刻な内容が増えた。(おとなの手を借りなければならない内容)

電話の内容として多かったものの上位5つの変化

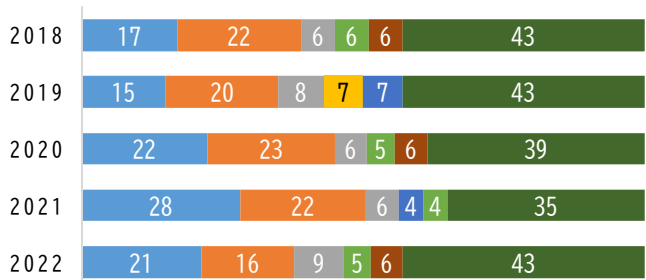
小学生女子



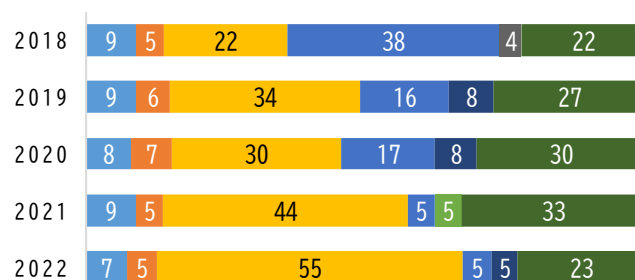
小学生男子



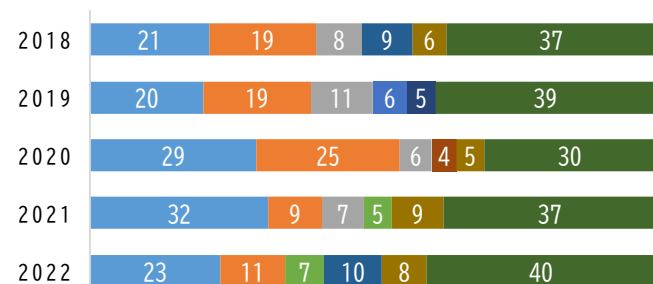
中学生女子



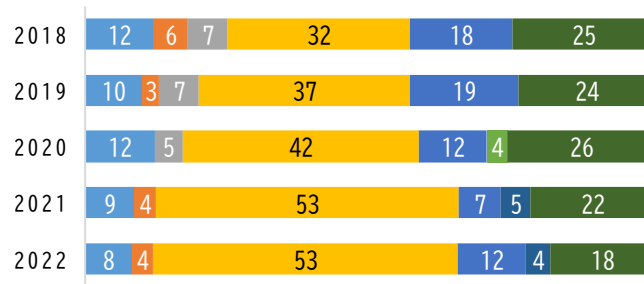
中学生男子



中卒～18歳女子



中卒～18歳男子

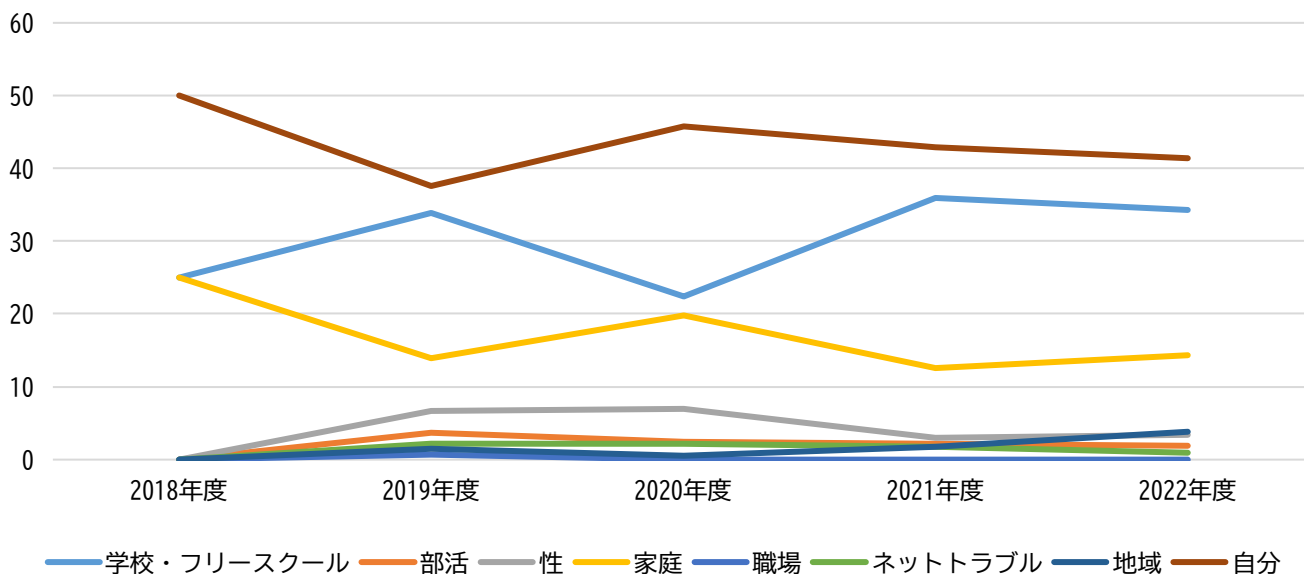


- 心に関すること
- 性に関すること
- 恋愛
- 進路・生き方に関すること
- 学校での人間関係
- 雑談・その他
- いじめ
- 身体に関すること
- 家庭での人間関係
- 家庭での虐待
- 勉強・成績に関すること
- その他

チャイルドラインあいちが受けた全国からのオンラインチャット

チャイルドラインあいちが対応したオンラインチャットのうち、会話が成立したものを主訴の項目ごとの割合で示しました。コロナ禍の影響を考慮し、2018年度から2022年度までを比較しました。

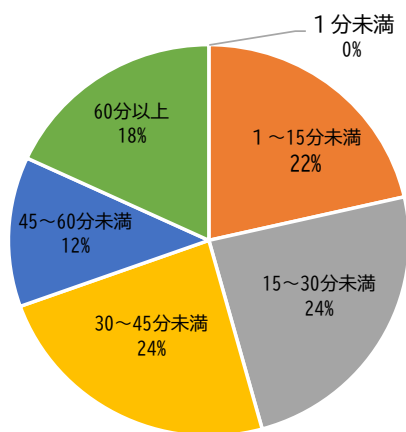
会話成立における主訴の変化



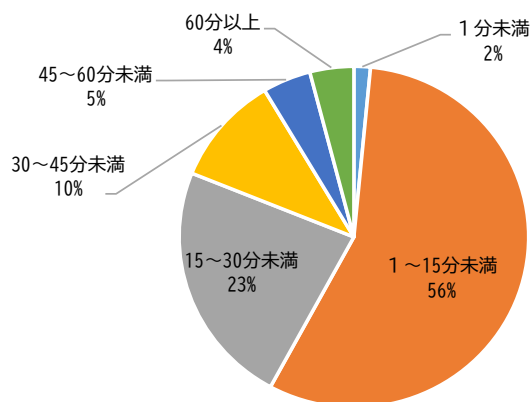
2020年度には【学校】の項目が減少し、【家庭】と【自分】の項目が増加しました。反対に、2021年度には【学校】の項目が増加し、【家庭】と【自分】の項目が減少しました。2019年2月の終わりごろからの休校措置や学校生活の変化などの影響かもしれません。

オンラインチャットの接続時間と電話の通話時間の比較

チャイルドラインあいちが受けた全国からのオンラインチャットの接続時間（2022年度）



チャイルドラインあいちが受けた全国からの電話の通話時間（2022年度）



オンラインチャットの接続時間と電話の通話時間を比較すると、15～30分未満の割合はほぼ同じですが、30分以上になると電話では極端に割合が減りました。

また、15分未満の電話の割合は半数を超えましたが、15分未満のオンラインチャットは2割強でした。

小学校低学年から進学塾に行かされ、がんばってきたのに高校は第一志望に落ちた。無気力になり楽しいと思えない。

お父さんがキレて殴られたから家から出てきた。お母さんも出ていった。どうしたらいいかわからない。

親のお金を盗んじゃう。やってはいけないとわかっている。けどどうちは貧乏だから部活の部費をもらえない。

ネットで知り合った人に個人情報教えてしまった。付き合ってるつもりだったけど、何かされないか怖い。

志望校に受かった。すごく頑張ったからめっちゃ嬉しい。

進学クラスに入ってしまった。ついていけない。毎日テストがある。カンニングしてしまう自分が嫌い。

なんで戦争があるの？子どもも殺されちゃうの？

チャイルドラインにつながった 子どもの声

春から中学生になるけど、友達出来るか心配。

リスカしてるところをお母さんに見つかってしかられた。ショックで死にたくなった。

ママが精神的な病気でぼくがいないと不安になるから学校行ってない。

小学生の時にいじめをして、今はすごく後悔してる。謝る勇気もなく、すごく苦しい。

SNSで知り合った友だちが虐待されているみたいで助けてあげたいけど、どうしていいかわからない。

コミュ力がないので友だちができない。母親が過干渉で何でも母の言う通りにしてきたから自分の主張の仕方がわからない。

ここに掲載する事例は個人が特定できないようプライバシーに配慮して再構成しています。(チャイルドライン支援センターHPより引用)

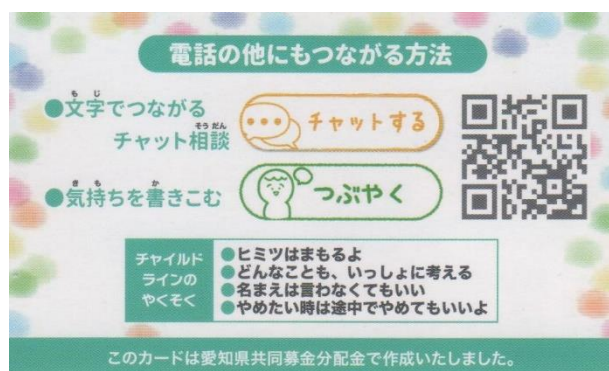
【特集】つぶやく

つぶやくができた経緯

2020年3月、COVID-19の影響で全国の学校が臨時休校になり行動制限が出される中、チャイルドラインの実施団体でも活動を制限しなければならない状況になっていました。チャイルドラインあいちでは開設日を減らし、電話室に入るのは公共交通機関を利用しない受け手、支え手に限定し、何とか回線数をゼロにしない工夫をしました。しかし、全国では通常の30%の窓口しか確保できない状況になりました。子どもたちは突然の休校で外にも出られず、不安が高まっても回線数が少ないために話し中となり、リダイヤルが増え、発信件数が増加しました。

この状況を受け、子どもたちがとにかく気持ちを吐き出す場所を確保しようと、同年6月チャイルドライン支援センターのHPに「つぶやく」というコンテンツが作られました。

現在でも子どもたちからの書き込みは減ることはなく、毎月1,500件以上の声が届いています。



チャイルドラインWebページに寄せられた 『みんなのつぶやき』

なんでいじめられるのかな
そのせいで学校楽しくない やすみたいのにお母さんが学校早くいきなさい!といわれるから学校いつているのに学校についたらいじめられる いやだ学校やすみたい

学校がやだ。とにかくやだ。
友達はある。でも、お昼はぼっち。二人組作ってくださいもやめてほしい。余るから。話してくれる子もいる。でも、なぜか寂しい。死にたいと思う。でも、死ねない。楽になりたいけど死ねない。家族もいるし友達もいる。きっと死んだら悲しむでしょう。せめて学校を休めたらいいのに。単位とかどうでもいい。はぁ、死にたい

部活での私の初舞台だった。
めちゃ楽しくて緊張していい思い出やったのに全て母がぶち壊した。褒めてくれなどしてくれなかった。私のためなのは分かっているけどいくらなんでも酷すぎる。小道具ちっちゃすぎる、前向け、(身長が)ちっさ、可愛い…可愛い?可愛いって幼稚ってことやん。んなこと言うなよバカ。中1で身長低いだけで可愛い子扱いされて毎回いらつくねん。アホか。バアアアアアアアアアアカ。姉は分かっているから許す。あ〜あ、さーいーあーくー!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!これ言えたらどんなにいいだろうね

受験を控えていてつい親などにストレスを溜めてあたってしまうときがあります。自分でも解決しようとしても僕の親は更年期だったり酒癖悪かったりして僕に手を出してきて途端に争いに発展します。母は真面目だけどちょっとしたことでも怒ってきたり父はデリカシーないことを平気で言ったり他の兄弟いるけど僕だけにあたってきたりしたこともありました

私のお父さん、お母さんは、
お酒を飲むと人が変わります お母さんは、お酒を飲むと「お前なんていないんだよなんているの」と言ってきます お父さんは、殴ったりしてきます。夜は痛くて寝れない。妹も心配してくれているけど妹も傷だらけ… 学校でもいじめられて… 昼は、学校… 夜は家… 毎日、毎時間、地獄の時間 誰か助けて

最近、親が毎日ケンカしてて嫌になる。
多分離婚すると思うけど、、私はお母さんの方について行こうと思う。お父さんといっても毎日怒鳴られるだけだから。友達には1人だけ相談相手がいってまだ気は楽だけど、毎日つらい

たまに、なんとなく学校に行きたくないときがある…。お母さんに理由を聞かれるけど自分でもよくわからないから、「わからない」としか言えなくて、当たり前だけど理解してもらえない。そして、ずっと明確な理由を求めてくるから嫌でしょうがない…。それがストレスでいろんなことへの気力がなくなっちゃうからいい加減な自分のこと好きになれそうにないんだよなぁ…

親厳しすぎてつらい。
友達たちはこんなに楽しってるのになんで私だけこんなに厳しい家に来ちゃったんだろ。テストで92点とっても落とした点の話とか、お前が8点分頑張っていないからとか言われてるもう無理がちでうるさい。もちろんもっと深刻な状況でもっと辛い人もいると思う。それよりかはまだと思うけど、私も友みたいにもっと気楽に自由に生きたい。

モラハラ気質のある父親となんでも従う情けない母親。お前ら子ども産む資格ないよ

あなたより辛い思いをしてる人はたくさんいるんだから頑張って""って先生はみんなそう言うけどなんで辛い思いまでして頑張んなきゃいけないの？楽しちゃダメなの、、、？ 一生辛いまま生きていくなんて嫌だよ。苦しい誰か助けて

ねえ、どうして私は生まれてきたのかなあんとに理由なんてないわよ。産まなきゃ良かった。そっか。ごめんなさいお母さん

学校に行きたくなくて親と喧嘩した。殴られた蹴られた、ノートや教科書はぐちゃぐちゃにされた、出てけと言われた、この家にいるなど言われた、親は離婚してて親権を父の方にすれば良かったと言われた、大嫌い、誰のために働いてると思ってるの、お前がいなければ楽だと言われた。

私は邪魔な存在、消えたい、死にたい

友達とどう接していいのかわからないいつもどう友達と喋ったどんなことしてもわからないどうすればいいのかな自分が嫌い死にたい疲れたもういい誰か助けてよお願い助けて死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい死にたい

お父さんとお母さんがよく喧嘩するんだけどそうなる時も僕に当たってきたり 僕にお父さんが悪いよねとめっちゃ圧かけてくるのが疲れる…

この学校は、差別の塊で女子は、男子を殴っていいのに男子は、女子を殴っちゃダメというルールができています。その行動に反対で、どっちも殴らない学校生活にしたい

私はなんで生きてるんだろ、と最近よく考えます。親に迷惑しかけてません。学校や塾のお金、生活費などは私が死ねば払わなくていいですよ。私が死ねば親は幸せだと思います。でもなんか死ぬのは痛そうで怖いんですよ笑本当私バカすぎる笑笑

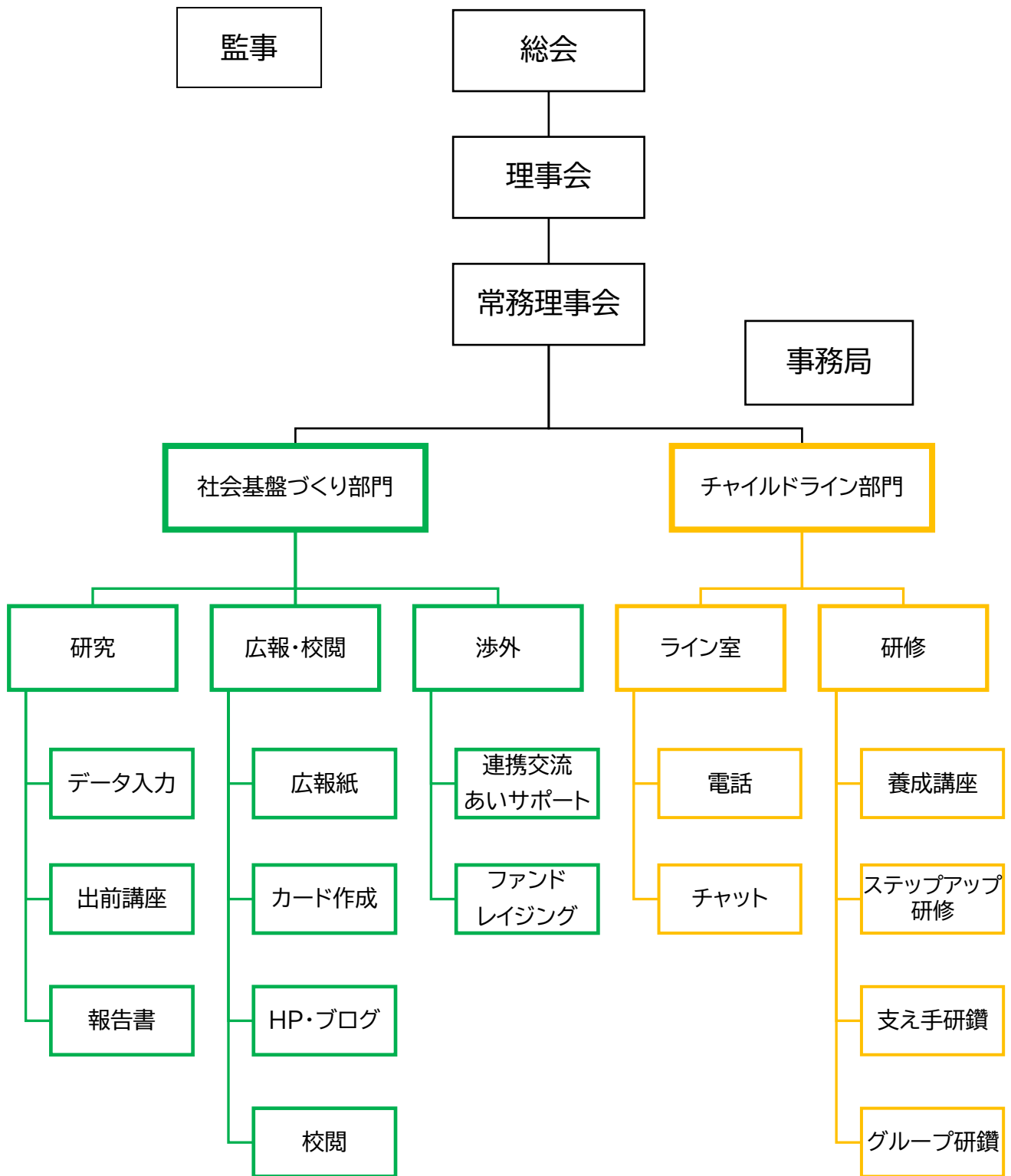
努力をしないだとかバカだとか言われた。ごめんなさい

親にリスクがバレたら、メンヘラと言われた。でもメンヘラって幼少期に愛情が足りなかったり、逆に愛され過ぎたりしたらなるらしい。私は親にかなり愛されていたのでそれが原因だと思う。つまり親のせい。自分の娘がメンヘラになって欲しくなかったら、自分でどうすべきか考えてよ。

人が苦手です。関わりたくないとも思います。人間と関われば関わるほどトラウマになっていきます。人は苦手だけどやっぱり好きなんです。関わりたいです。友達がほしいです。でも人間関係もうまくいかないしどうしたらいいのでしょうか。自分のことがいやになって、嫌いになって、リスクや、自傷行為が止められません。死にたいって思うのもやめられなくて。どうしたらいいのでしょうか。

2022 年度 活動の記録

組織図



各部の活動

チャイルドラインあいちには定款*に則り、子どもの声を聴くために必要な事業を運営する「チャイルドライン部門」と子どもが生きやすい社会をつくるための事業を行う「社会基盤づくり部門」があります。

*チャイルドラインあいち定款

(目的)第3条 この法人は、子どもがかける電話、オンラインチャットその他の遠隔コミュニケーションツールを用いた「チャイルドライン」を開設し、子どもたちの声を受けとめ、自立を援け、子どもの健全な成長のための社会基盤づくりに寄与することを目的とする。

チャイルドライン部門

① ライン室:電話・オンラインチャットを使って子どもの声を聴く活動の根幹となる部署。

② 研修部

☆養成講座:子どもの声を聴くボランティア養成講座の運営。

☆ステップアップ研修:受け手のスキルアップのための研修の企画、運営。子どもに信頼される受け手である為に、現場での課題をもとに研修を行う。

☆支え手研鑽:受け手を支援する支え手のスキルアップや課題共有など、現場で安心して受け手が活動できるための研鑽を行う。

☆グループ研鑽:受け手同士が日々のボランティア活動の思いを共有し、仲間同士で学び合う研鑽を行う。

社会基盤づくり部門

① 研究部:ライン室で受け取った子どもたちの声を報告書や広報紙にデータにまとめ、子どもの現状を社会発信する。また必要に応じて受け手・支え手にデータから見える子どもの声の傾向を共有する。

☆データ入力:電話やチャットで受けた内容をデータベースに入力する。

☆出前講座:チャイルドライン活動での学びをもとに、一般向けに講座プログラムを作成し、広めていく。また会員間の学びのためのプログラムの検討。

☆報告書:報告書のあり方について検討し、データや1年間の活動をまとめて報告書を作成。

② 広報部

☆広報紙:会員向けの会報紙作成。研究部から提供されるデータから見える子どもの現状や、チャイルドラインあいちの活動を外向けにも知らせる広報紙を作成。

☆カード作成:チャイルドラインの番号等の情報を記したカード作成と配布作業の運営。

☆HP・ブログ:HPのブログの執筆。日々の生活や社会の動きなどから感じたことを、チャイルドラインの目線で伝える。当番制で更新。

☆校閲:チャイルドラインあいちで発行する印刷物について字句や表現の確認・修正を行う。

③ 渉外部

☆連携・交流:チャイルドラインの活動を活かして対外的に行っていく事業を企画実施。

あいサポート:子ども関連の対外行事に参加して、子どもやおとなに対してチャイルドラインあいちを周知し、子どもがアクセスしやすくするための活動。また、内部のボランティア同士のつながりを作るための企画実施。

☆ファンレイジング:チャイルドラインを理解してもらい、団体運営のための寄付集め等、財源につながる渉外活動を行う。

公開講演会

2022年10月9日(日)イーブルなごや大ホール及び zoom にて公開講演会が開催されました。今回は、NPO 法人「陽和」の理事長渋谷幸靖氏をお迎えし「笑顔溢れる社会の実現に向けて」というテーマでお話いただきました。参加者は、一般 42 名(うち養成講座受講者 4 名)会員 32 名、zoom 参加者 10 名でした。参加者の中には「知らせてもらったので来ました」と飛び込み参加された方もみえ、とても嬉しかったです。

渋谷氏は、非行少年らと向き合い、彼らを取り巻く環境を改善するため 365 日 24 時間寄り添い続けてみえます。会場では具体事例を動画で示してお話され、参加者は引き込まれるようにして見入っていました。また、チャイルドラインあいちについても触れられ、活動内容は違えど子どもたちの幸せのために活動している、という思いは一緒だということもおっしゃっていました。

公開講演会を皮切りに今年度の養成講座がスタートします。新しい仲間を迎える準備を整え、これからも皆で支え合うチャイルドラインあいちを目指していきたいと思えます。

(チャイルドラインあいち 2022 年 12 月会報紙より)



養成講座

実施日	内 容	講 師（敬称略）	参加人数
公開講演会 10月9日	笑顔溢れる社会の実現に向けて ～支援のあり方～	渋谷 幸靖	74名
基礎講座 10月23日	チャイルドラインについて	高橋 弘恵	6名
	ボランティアって何だろう？ ～「素人だからこそ」を大事にするチャイルドライン あいちの学び方・考え方～	渡辺 勉	6名
11月12日	生きづらさを抱えた子どもたちの理解と対応 ～福祉・教育の視点から～	渡邊 忍	8名
1月15日	ワークから知る「聴く」ということ	佐竹 一予	8名
2月6日	仲間とのグループワークを通して、自分を知る	濱本 孝子	6名
実践講座 1月18日	子どもの権利条約を深めるワーク	チャイルドラインあいち 出前講座チーム スタッフ	5名
	発達障害の子ども、家族への支援	永井 幸代	5名
2月19日	男の子の性 ～ちっちゃいけど大きい男子のシモのお悩み～	今井 伸	5名
	女の子の性	丹羽 咲江	5名
3月5日	傾聴の基礎 ～「子どもの思い」を聴く～	服部 はつ代	5名
3月26日	ロールプレイ ～実践にそなえた体験学習～	服部 はつ代 濱本 孝子	5名
4月16日	最終打ち合わせ・オリエンテーション	チャイルドラインあいち スタッフ	5名
5月28日	フォローアップ ～実際に電話を受けて～	服部 はつ代	4名

クラウドファンディングの取り組み

悩みを持った子どもたちの声は、とても小さくて、時に聞こえにくいことがあります。

そんな時、いい加減に聞き流すわけにはいかない私たちは、子どもたちにお願ひします。

「ごめんね、ちょっと聞き取れなかったから、もう一度言ってくれる？」と。

やっとの思いで口に出せた言葉だから、本当は一度で聞いてあげたい。つらい気持ちを何度も話させたくはない。

そんな思いの中、子どもたちの声をしっかり集中して聴けるようにしたい。個室型の受話ブースを設置したいと考えました。

そこで「子どもたちの声を決して聴き逃がさないプロジェクト」と銘打ち、クラウドファンディングとして取り組もうと。

多くの人の共感・協力を得、実現に向けて取り組んで行こうということにしました。

しかし全く初めてのクラファンの取り組みなので、まずはその勉強とアドバイスを頂きながら準備を進めました。

「本当に自分たちにお金が集められるの？」という心配の中、目標金額をまず 30 万円に設定。READYFOR のプロジェクトページの作成・運用、PR チラシの作成・配布、HP・ランディングページ作成、Facebook のプロジェクトページ作成・運用、C.L.あいちの公式 LINE での発信・運用などなど。これらの作業を同時並行で進め、10 月 10 日のスタートまでに準備を重ね、整えてきました。スタート日が 16 日にずれ込むというアクシデントはありましたが 10 月 16 日の 18:00 に向けてカウントダウン。そしてスタート。

開始から 23 時間で目標金額の 30 万円を達成することができました。みなさまからの温かいご支援に感謝しつつ、早速ネクストゴールを 70 万円に設定。私たちの次なる目標・ねらいは現在準備・試行中の「チャイルドライン・ネットでんわ」(インターネット回線を使った通話システム)による電話対応ができるための環境整備に充てようということに。そしてこの次なる目標額も開始からひと月の 11 月 14 日には突破。最終的に終了日の 11 月 27 日には支援総額は 823,000 円 支援者 139 人 となりました。

この支援金を使わせて頂き、木製の電話ブースの設置、ネットでんわに対応するためのノート PC(2台)・ヘッドセット(4台)などの購入ができました。

今回の取り組みを通して私たちは大変多くの人たちに共感を頂き、協力を得ることができました。このプロジェクト中、応援メッセージを頂いた方々は 名古屋大学の内田良さん、映画評論家の寺脇研さん、木の空間づくりプロジェクトの福田啓次さん、名古屋ダイヤモンドドルフィンズの張本天傑選手、放課後等デイサービスよかったねクラブの谷川典子さん、ボラみみより情報局の織田元樹さん、声楽家の佐地多美さん、関西学院大学の柴田学さん、TENGOKUYA DESIGN クシダヤスヨさん、弁護士の多田元さん、などです。プロジェクトの立ち上げから最後までお付き合い下さり、アドバイスを頂いたチームコウノトリの笹木春香さんには本当に感謝です。

自分たちの思いをこんな風に具体的に発信し協力を求め働きかけていくことの大切さを、多くの人からの応援のメッセージや具体的支援などから学ばせていただきました。

(クラウドファンディング担当)

ご支援・ご協力いただいた皆様（敬称略）

2022年度チャイルドラインあいちは、多くの皆様のご協力を得て活動を展開してきました。
お名前を紹介し、心より感謝申し上げます。

【ご支援いただいている企業と個人】

NPO 法人名古屋おやこセンター、株式会社養日化学研究所、伊東恵美子、伊藤敏子、大竹家嗣、金田愛、畔柳隆子、菅原操子、杉東優子、鈴木田鶴子、高桑満、高橋夏子、高山百合子、立石享子、柄本恵子、豊田昌宏、長縄光子、中村香苗、中村佐和、廣瀬満子、森建輔、森川雄基、山内大輔、山田真理子、横井香代子

イオン熱田店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

ギブワン

社会福祉法人 愛知県共同募金会

中部ウォーカーソン

つながる募金

東海ろうきんNPO 寄付システム

本州建設 株式会社

Amazon オンライン寄付システム

【クラウドファンディング支援】

青木研輔、明石雅代、秋山重司郎、あけみ、安達友子、井階みか、一柳三知代、いるか、岩田忠雄、岩田百合子、大坪真人、岡久美子、岡本政廣、織田元樹、かい、学習塾エンカレッジ桃花台、家族の安心笑顔を応援！Being up 協会、加藤真理子、加藤峰子、加藤るみ子、株式会社サンゲツ、川合真由美、かわきよ、河原紀久子、北倉がちゃぴん、木の空間づくりプロジェクト、きよみん、きょん、くう、くしだかおり、けい、合同会社 OFFICE HARU、子供かきかた教室、こぼてる、斉藤順子、榊原恵子、笹木春香、佐竹一予、佐地多美、さと、佐原恵津子、澤田孝子、柴田学、下田一幸、しももふ、じゃすみんちゃ、新開輝夫、鈴木由子、祖父江里香、高橋弘恵、竹本浩一、田中真由美、たまちゃん、丹下靖、ちい、ちえ、辻本枝里、鶴田育代、てんとうむし、ドラゴン、どんちゃん、とんとん、長坂洋、中西敦子、長沼裕子、中村晶子、中村弘佳、長屋知子、憲俊、橋本克子、服部はつ代、濱本孝子、ひさ、ひーちゃん、ひろこ、廣瀬満子、ふ～、福本悦子、藤田ヨシサダ、ふっきー、べべん、ぼこぼこ、堀智仁、まおまおん、牧島美奈子、ますあゆ、豆太郎、みー、みかん、水野真由、水野芳男、美辺香澄、みんながみんな健康になる、村田太、毛利晃代、やえぼん、やす、山田雅雄、山田友美、山下昌子、山登魂、山本佳昭、ゆう、ゆき、よかったねクラブ 谷川典子、ラグビー大好きおじさん、ろーる

dragonquest3、EmaY、ERIKA、Giacso、GODSPEED、hisao shimizu、Hit、Ikuko Sugiyama、jo、junko、Junpei、Kim.Char、kussy@tengokuya、Kyoko Kaiya、miho、minoru、mitsutoshi、nao、Peter、RISA、ROCK、Seizo Tsukamoto、sekiro、Shin Iwam、shokomiyagawa、Takashi Sakurai、takeko、tomomo244、teramoto、yomomo、Younghee Shin、YUICHIRO YOSHIDA

編集後記

子どもの数は年々減り、子どもを取り巻く環境は変わっています。変わっていくもの、変わらないもの、その両方を大切にしながら、チャイルドラインはこれからも「子どものみかた」であり続けます。(K)

わからないことばかりで始まった報告書作成。子どもたちの声の変化など、たくさんの気づきを頂きました。(S)

チャイルドラインあいちが受けたコロナ禍、コロナ後の子ども達の状況や子ども一人一人を尊重した活動について、メンバー全員が自分の役割に責任をもち、皆で検討してできた報告書です。(H)

今年は子ども家庭庁が発足し、こども基本法にも「児童の権利に関する条約の精神にのっとり」という文言が入りました。子どもたちの生きやすい社会を目指して“頑張れ、おとな！”ということで、頑張ってきた報告書です。(T)

C.L.あいち初の挑戦、クラウドファンディング。わからないことばかりだったけど初めてだからこそ良かったこと、上手く気付いてなくて悔やむこと、沢山の気づきをもらえた感じがしています。何事もやってみなくちゃってことなのかな・・・(W)

今年度は新たな作成メンバーの参加で、一層充実した内容となりました。チャイルドラインあいちが捉えた子どもたちの今と団体の活動報告をお届けします。(I)



きみのみかたになりたい



チャイルドラインあいち



特定非営利活動法人チャイルドラインあいち

〒457-0007 名古屋市南区駈上1-15-2 A320

TEL/FAX 052-822-2801

Mail : info@cl-aichi.net

HP : <http://cl-aichi.net>

2023年8月発行

この報告書は愛知県共同募金会配分金により作成しました。